

令和7年度 第1回みんなで支える森林づくり長野地域会議 意見等概要
(■説明事項 ○意見等) (13:00~16:10)

開会 局長あいさつ 自己紹介等

■森林づくり県民税活用事業について

◎令和6年度実績について

事務局：管内の森林税活用事業の実績について資料により説明

各市町村から実績内容について資料により説明

○長野市 観光地等の景観整備と緩衝帯整備を実施した。

観光地は施設周辺の森林整備、緩衝帯は主にツキノワグマ対策として実施

○須坂市 森林外の病虫害対策と緩衝帯整備を実施

松くい虫対策として被害木処理、緩衝帯整備は電気柵の上部を伐採してより効果的にする目的。シカ対策には苦勞している。(飛び越え)対策検討中。

○千曲市 観光地の景観整備を3箇所実施した。

1箇所は利用者の多い姨捨駅周辺の眺望確保のための伐採。

○高山村 病虫害対策と緩衝帯整備を実施

松くい虫対策では公園の被害木対策。緩衝帯は集落周辺の獣害対策として実施。

○信濃町 森林の病虫害被害対策を実施

林道沿いのカシノナガキクイムシ被害木として危険木にならないよう活用した。

○小川村 ライフライン対策として3箇所実施。

電線に接触する恐れのあるものについて事業実施。本来は所有者に対応してほしいが中々難しいところ。危険箇所はたくさんあり助かっている。

○坂城町 森林の病虫害対策(松くい虫) 材の利活用 (事務局)

○飯綱町 ライフライン等の保全 危険木の伐採を実施 (事務局)

◇意見、質問等

・主伐再造林については、どのような樹種が伐採され、どんな樹種が植栽されたのか。

苗木は不足していないのか。

▶信濃町、飯綱町での主伐・再造林が多い。植栽は伐採樹種と同じ場合が多い。少花粉の

苗木はまだ生産されていない。今のところ苗木の不足していることはない。

- ・開かれた里山はどこにあるのか。
 - ▶後ほど里山整備事業について説明

- ・学びと育ちの森づくり推進事業は、どのような学校等が実施しているのか。
 - ▶市街地の学校林が２校、残りは学校の裏山みたいな場所。
 - ▶学校林の整備状況の様子が見えるようにしたい。

- ・普及啓発、評価検証については前回の会議の意見等に回答できるようにしてほしい。
 - ▶各地域会議でいただいた意見は県の会議に報告して制度等に反映する。地域の意見としていただいたものは、次回の地域会議で回答するようにしていきたい。

- ・地域の野生鳥獣の状況について説明があるとよい。
 - ▶地域で被害対策は工夫されて独自で実施されているものもあるよう。
 - ▶業務概要により鳥獣被害の状況説明
 - ▶ツキノワグマは注意報も出ている状況、報償費の値上げなど予定している地区もある。

- ・県内の少花粉スギの生産は。
 - ▶これまでも苦労してきているところ。挿し木での増産など検討してきているがコスト生育期間の関係でうまく進んでいない。昨年度少花粉スギから種が採種できたので、来年度以降には県内産の花粉対策苗が出荷されてくる予定。

◎令和７年度計画について

事務局：管内の森林税活用事業の計画について資料により説明

地域会議は次回１１月に開催し次年度に反映できるようにしていきたい。

各市町村の計画は一覧表のとおり

意見、質問等

- スギの県道沿いの伐採を実施したが、太い木でも赤字になる状況だった。木は邪魔な物という状況。これらを解決するために地域の認証材等としてホームセンター等で流通できると良い。

- 市の事業だと思うが記念樹の配布事業がなくなった。残念に思っている所以で制度復活してほしい。
 - ▶緑の募金事業の関係もあり廃止の状況。木育活動は事業拡大しているところ。

- 県産材利用促進条例についてこのような場で内容を共有してほしい。
 - ▶後ほど説明予定

- 今年度事業実施計画のない市町村については事業の活用を検討してほしい。
 - ▶実施市町村の取組みを参考にして事業実施を検討していきたい。

■里山整備活動の状況について

事務局：管内の森林税活用事業の状況と計画について資料により説明

開かれた里山整備地区は2地区で実施予定

出席していない地区の事業計画を事務局で説明

○七二会里山整備利用推進協議会

竹林整備を中心に活動し、昨年度とは整備箇所を変えて取組む。

竹チップは需要があり生産に取り組んでいる。また、竹を活用し、地域の学校等との連携した活動にも引き続き取り組んでいく予定。

○七二会森林クラブ

会員14名でシニア層である。引き続き薪生産活動を実施していくが、地域の事業体となるために、地域おこし協力隊を募集して、自立した事業ができるようにしていきたいと考えている。地域の人材育成や林業の起業に対する支援があれば助かる。林業振興には従事者が増えることが必要に思う。

○千曲市八幡地区里山整備委員会

通称善光寺古道周辺の整備に取り組んでいる。3年目の活動になるところ。機械レンタル等でぬかるんでいる歩道等を整備していく。また、地域の子供たちと木工教室を行う予定なので良いキットなどあれば教えてほしい。地域のために森林整備もできると良いと思っている。

○一重山みらい会議

昆虫採集教室を企画中。ある程度伐採して若返りも必要と思っている。3年間事業を実施しているが大きな樹木は伐採できない。一部実施したところは日が当たりより外来種が発生してしまった。活動は藪刈等が中心となる。地域をPRできる冊子を作成していく予定で反響がある状況。活動する人材が減少しているので活動に課題はある。

市町村と協力して活動して譲与税などでうまく支援をいただけると助かる。

○その他利用地域の概要は事務局より説明

※時間の都合で現地視察へ

■現地視察 【啓成会クリニック厚生施設棟】(15:00～)

あたりまえに木のある暮らし推進事業 ※乗り合いで会場へ移動

木造・木質化等 約15m³の木材を使用

◇施設の概要等について所有者から説明

◇利用方法や利用者の状況について確認

◇木の香りがする休憩施設で県のCO2固定認証(ECOC0)により認証を受けている。

(帰庁)

- ・里山整備関係についての意見、質問等（各地域への質問や追加報告等あれば）

○七二会森林クラブ（情報提供）

薪の出荷先である静岡県の焼津鯉節協同組合から、薪の仕入れ先である長野県において食育学習を行いたいとの要請があり、地域の小学校と地元のみなさん及び県で調整しており、10 月に来県して食育学習を実施する予定。地元の取組みを知ってもらうために広葉樹を使ったしいたけの植菌活動を実施したところ。

※薪の出荷先である静岡県の焼津鯉節協同組合は長野県に寄付をいただいている。

- ・事業は 5 年間実施すると補助金がなくなるので、団体の助成金等を活用しているところもある。今後の参考にしてほしい。
- ・森林整備を実施する場合の補助事業は委託でも対象となるのか
 - ▶当事業のほか造林事業で実施できるものもある。
- ・委託で事業を行うことは負担が大きいのです市町村の事業で協力していただけると助かる。環境譲与税を活用する場合は天然林が対象にならないのか。
 - ▶手入れの進まない森林の整備が本来の目的。市町村が用途を決めて活用しているので何とも言えないが対象にできないことはないと思う。
- ・林業分野の補助金については、活用している人が限られているイメージがあるが、この事業は少し違う事業に思っており、地域の取組みの PR になっている。
- ・団体の活動にしても人材が必要などころがあると思う。地域おこし地域おこし協力隊の方の活用や、取組みの継承等が課題となる。
- ・林業は木材価格等の関係から厳しい状況。地域の取組みから森林施業に発展させ、収入を得ようとしても、現況では黒字にならないことがわかり断念したところ。

■その他

○業務概要により県の林業の状況等について（事務局説明）

○信州の豊かな森林と環境を守る県産材利用促進条例について（事務局説明）

- ・なぜ外材が国産材より安いのかがよくわからない。
 - ▶主には資源量や生産能力が大きな理由。森林面積や資源量、地形等条件による。
- ・国土保全のために植栽してきたと聞いている。それを聞くと伐採が進まない理由になるのではないか。

▶伐採は条件の良いところで行うなど事業地のゾーニング必要。里山整備は野生動物と人との生活圏の区別に重要な活動になるが注意して進めていただきたい。

事務局

市町村森林整備支援事業の実施内容については森林税のPRにもなるので、市町村の広報等による事業報告を依頼。

終了

【会議の状況】



視察施設



室内の様子